



特集 アミタの企業向けサービスをご紹介します

アミタグループの描く「未来」をステークホルダーの皆様にお届けします

未来デザイン通信

2019
秋

AMITA

2019年上期 アミタグループのハイライト

決算状況

営業利益・経常利益・純利益のいずれも期初予想・前期に対して増加しました。
 既存事業・サービスの収益性改善と利益率の高い新規サービスの創出に注力することで、
 営業利益率も徐々に回復基調となり、利益の上がる企業体質に向けて前進しています。



連結損益の状況

	2018年上期 (2018年1月-6月)	2019年上期 (2019年1月-6月)
売上高	2,341	2,260
売上原価	1,592	1,467
売上総利益	748	792
販売費及び一般管理費	735	688
営業利益	12	104
営業外収益	12	11
営業外費用	37	31
経常利益または経常損失(△)	△12	83
四半期純利益または純損失(△)	△55	34

売上高減少の主な要因

- 海外資源トレーディングの取扱量減少
- 100%リサイクルの取扱量減少

営業利益増加の主な要因

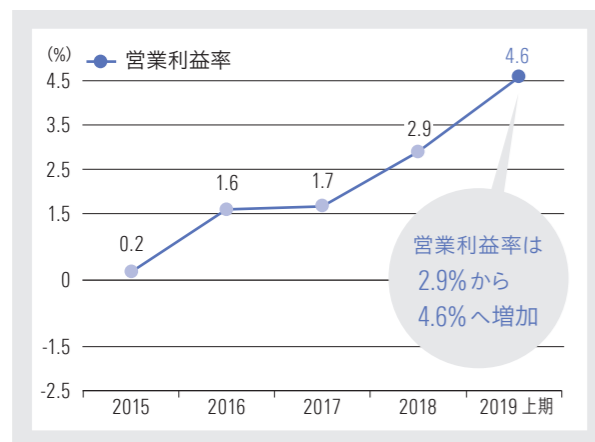
売上原価や販管費の削減が進み、
売上総利益、営業利益がともに増加！

- 売上原価の大幅な削減
既存の100%リサイクルサービスにおいて、各製造所での原料購入にかかる経費の削減等が進んだ
- 販売管理費の大幅な減少
2018年3月に実施した増資施策に関する諸費用が2019年は未発生

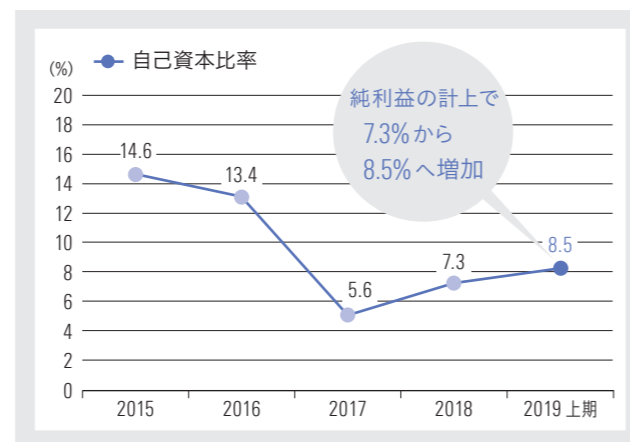
営業外費用の主な要因

- 外貨建て取引により生じた為替差損

営業利益率



自己資本比率



事業進捗状況

2019年度は利益の拡大にこだわり、既存事業・サービスの収益性改善と利益率の高い新規サービスの創出に注力しています。

特に、100%リサイクルサービスにおいては、各製造所で保守計画の見直しによる設備修繕費の削減や原料購入費の削減を進め、売上原価を大幅に削減しています。北九州循環資源製造所では、2018年から始まったシリコンス

ラリー廃液のリサイクルが好調に進み、収益に貢献しています。環境認証審査サービスにおいては、増加する受注への対応の強化として、審査員やバックオフィスの人員確保に注力しています。2018年にリリースした環境管理業務の効率化支援サービス「AMITA Smart Eco (アミタ スマート エコ)」においては、市場形成に向けて営業深耕とさらなる機能強化を進めています。

取り組み項目	状況
企業向け支援	
環境戦略 デザイン事業	<ul style="list-style-type: none"> ●海外資源トレーディングサービスの取扱量の減少 ●姫路・川崎循環資源製造所での100%リサイクルサービスの取扱量の減少(原因…姫路:リサイクル設備の修繕等に伴う取扱量縮小 川崎:出荷遅延) ●北九州循環資源製造所でのシリコンスラリー廃液リサイクルが収益に貢献 ●「AMITA Smart Eco」の既存の各機能の改善と営業深耕、新規機能の追加
環境ソリューション (環境認証、調査・研究)	<ul style="list-style-type: none"> ●水産認証を中心に環境認証審査サービスの受注が増加 ●(株) ユーグレナの海藻に対し、世界初の「ASC-MSC海藻(藻類) 認証」を発行 ●ASC養殖場認証の審査対応魚種規格に「スズキ・タイ・オオニベ基準」を追加
海外事業	<ul style="list-style-type: none"> 台湾: 2019年4月26日に事業撤退を決定 マレーシア: セメント代替燃料製造の事業化に向けたテスト出荷を実施
地域向け支援	
地域 デザイン事業	<ul style="list-style-type: none"> めぐるステーション ●「MEGURU STATION」の商品化に向けた開発及び展開地域へのアプローチを実施 ●パラオ共和国での事業化に向けた環境省調査委託事業を受託
アライアンス	
持続可能な社会の実現に向けた パートナー連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ●NECソリューションイノベータ(株)と「『資源循環事業の高度化』に関する包括連携協定」を締結

台湾の事業撤退について

台湾循環資源製造所は2016年に開所し、太陽光パネル等の製造過程で発生するシリコンスラリー廃液の100%リサイクルサービスを行ってまいりました。

2017年以降、市場の変化によりシリコンスラリー廃液の確保が困難となった後も事業の立て直しを図ってまいりましたが、2019年4月26日、原料の安定調達に困難な台湾ではなく、日本国内で好調な北九州循環資源製造所における同リサイクルへ経営資源を集中させることを目的に、台湾事業の撤退を決定しました。

今後の見通し

北九州循環資源製造所では、2018年から半導体の製造過程から発生するシリコンスラリー廃液のリサイクルを実施しています。

高収益な本事業をさらに強化させていくべく、

▶台湾現地で利用していたリサイクル設備を移設(2019年内に移設完了予定)

▶台湾現地で培ったリサイクルのノウハウ・知見を活用します。

社会課題を解決する、それが私たちアマタの使命です

—50年後、100年後の子どもたちが安心して暮らすことのできる未来のために—

アマタが目指しているのは、人と自然が豊かにつながる持続可能な社会。

この実現のために、地域・企業の持続性を高める統合サービスを展開しています。

様々な社会問題を発生させている現代の産業構造を、持続可能(サステナブル)な形に変えていくこと。

そして、持続可能社会の実現に共に取り組む企業を増やしていくこと。

それが、私たちアマタの企業向けサービスです。



● SDGsが企業経営のスタンダードに!

2015年国連サミットで採択された”誰一人取り残さない”社会を実現するための、持続可能な開発目標「SDGs (Sustainable Development Goals)」。

企業・消費者・非営利団体等、すべてのステークホルダーが連携してこの目標を達成することが求められています。

また近年、このSDGsの達成を標榜し、事業を通じた持続可能社会の実現と自社の価値向上に取り組む企業が増加しています。

*本紙面では各サービスの社会的効果を示す目印としてSDGsの目標ラベルを掲示しています。

● 行き過ぎた資源利用が、様々な社会課題を引き起こす!

現代の産業構造では、モノやサービスを安定的・効率的に提供するために、資源やエネルギーが大量に消費されています。

その結果、様々な社会課題が連鎖的に発生しています。

● 過度な森林伐採

木材の大量消費や植物油搾取のための農地転用等を目的として森林が伐採されます。

● 森林面積の減少

自然の回復力を上回るスピードでの伐採や焼失により、森林面積が減少します。

● 生物多様性・気候変動問題

森林が破壊されることで、森の生き物たちの住処が無くなってしまふことはもちろん、森林の土壌で生成される物質(プランクトンの餌)が減少する等、海の生態系にも影響を与えたり、地球温暖化が加速したりします。

● 水不足・食糧問題

地球温暖化による気温上昇や砂漠化、干ばつ等の影響により農作物収穫量の減少や水不足が発生します。

● 失業・移民・格差問題の発生

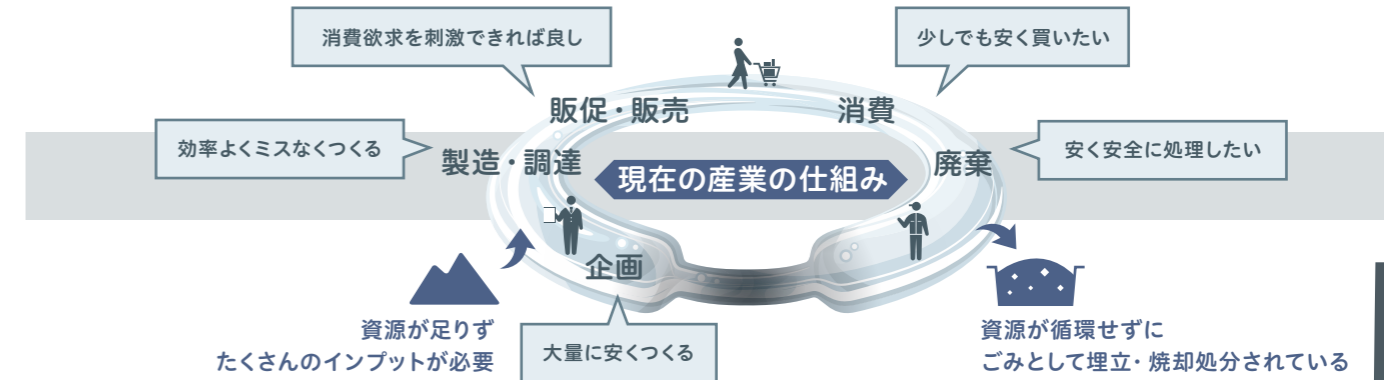
農業・漁業で生計を立てていた人々が職を求めて都市部に流入する等により失業や移民、格差問題が発生します。

● 政治不安や人権・平和問題に発展

貧困・格差問題等より政治不安が発生し内戦が勃発したり、その中で人身売買が生じるケースもあります。

産業界のサステナブル化を推進! アマタの企業向けサービス

モノやサービスの安定的・効率的提供が優先されがちな現在の産業構造を、持続可能なかたちに変える。そのために、人々が持続性に配慮した行動を起こしやすい社会をデザインしています。



ビジョン・戦略策定のコンサルティングから実行まで
モノやサービスが作られる過程をサステナブルに変える支援サービス

100%リサイクルサービス

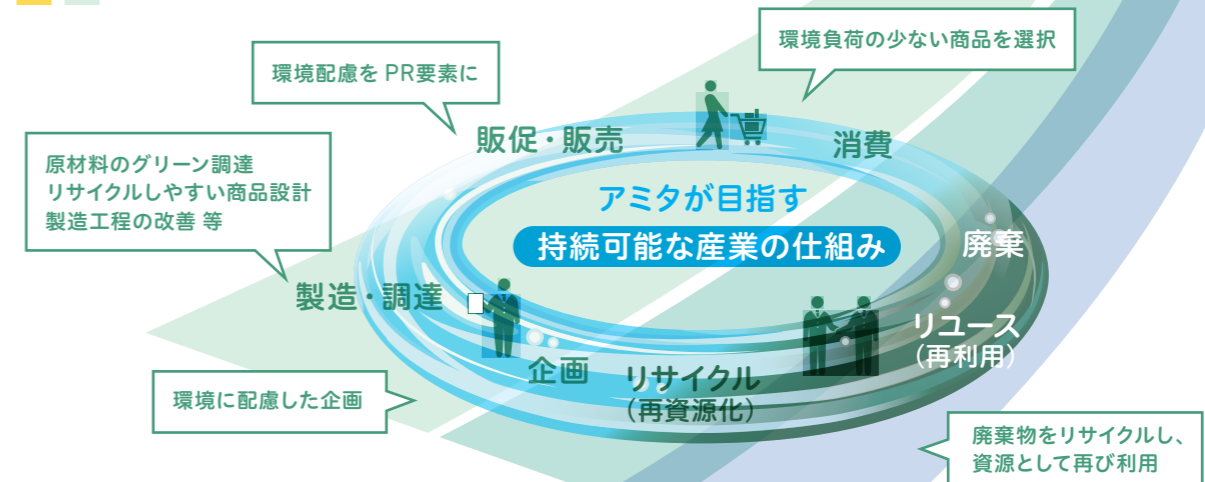
● 独自技術による環境負荷の低い産業廃棄物の100%リサイクル

AMITA Smart Eco
(アマタ スマートエコ)

● 環境管理業務のスマート化で資源循環効率と企業のサステナブル化を促進

環境認証審査サービス

● 自然・社会・経済面に配慮した持続可能な流通プロセスの構築
● サステナブルな木材・水産資源の調達を支援



100%リサイクルサービス

企業から排出される多種多様な廃棄物を独自の分析・調査技術により100%リサイクル。セメントの代替原料/燃料や金属原料といった資源を製造し、ユーザー企業に安定供給しています。



分析

4,000種以上の多様な廃棄物を元素レベルで分析

調査

ユーザー企業の規格に合わせて廃棄物をブレンド

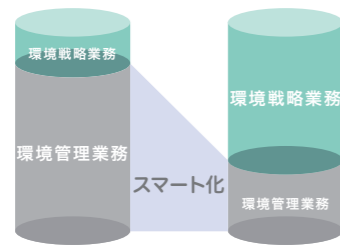
AMITA Smart Eco (アマタ スマートエコ)

高まるサステナブル経営への対応と、拡大し続ける企業の環境管理業務をICT&アウトソーシングによりスマート化。最小限のコストで、企業のリスクを最大限に低減すると共に、経営資源を企業のサステナビリティ化に集中させる環境を整えます。



拡大し続ける環境部の業務

- 廃棄物処理・抑制
- 環境関連法への対応
- 公害防止・安全点検
- 報告書の作成
- SDGs
- パリ協定
- バーゼル条約
- CDP
- 環境戦略立案



リスク&コスト削減でより高度な環境施策を促進!

- 経営資源(人・資金等)を集中
- 法令違反等のリスク低減
- 業務の負荷低減・最適設計で「働き方改革」の促進に寄与!

AFTER

環境認証審査サービス

持続可能性に配慮した木材・水産資源、およびそれらを用いた商品を確認する国際的な制度の認証・審査を行っています。自然環境への配慮はもちろん労働者・先住民・地域社会の権利や安全の保護等の社会面を含め、責任ある生産・流通・加工がなされているかを審査します。

環境認証の種類とラベル



森を守る FSC®/PEFC™森林認証

認証機関であるソイル・アソシエーションおよびSCSグローバルサービスと提携して、森林認証審査サービスを実施しています。(FSC® N001887)



持続可能な水産物の証 MSC/ASC認証

MSC認定認証機関としてMSC CoC認証審査を、ASC認定認証機関としてASC養殖場認証およびASC CoC認証審査サービスを実施しています。(ASI-ACC-036)



環境・社会面への影響

ここが特長! アミタの100%リサイクル

① 埋立・焼却に繋がるリサイクルはしない

含有率の高い金属だけ利用

熱エネルギーだけ利用

② 環境負荷が低い

温室効果ガス排出量

業界標準の 約1/15

投入エネルギー量

業界標準の 約1/2

③ 天然資源より高品質

再資源化した量の50倍以上の天然資源の保護に繋がります。

アミタが1年間につくる銅の再生資源679t



679t

||

37,800t



救える天然資源 銅鉱山の採掘量 37,800t分に相当

環境にまつわるリスクとコストを同時低減!



廃棄物処理委託先の適正処理を工場現地に赴き、定期的に確認する「現地確認」業務をビデオ通話システムを利用し遠隔で実施。リスクとコストの同時低減を叶えます。



移動時間、旅費交通費等の削減

廃棄物の適正管理による環境課題の発生抑止 法律違反等の防止

※「Smart現地確認」は「AMITA Smart Eco」の6機能のうちの一つです。

持続可能な資源調達を支える仕組み

FM認証 Forest Management: 森林管理

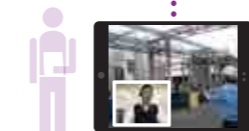
環境・社会・経済のバランスのとれた森林管理を第三者が審査・認証します。

CoC認証 Chain of Custody: 加工・流通過程の管理

認証木材・紙製品の適正管理・加工を第三者が審査・認証します。

販売店

消費者はラベルを目印に認証商品を選択することができます。



処理委託先企業



森林組合・林業会社



加工・流通会社



消費者

2019年上期のTOPICS

シリコンスラリー廃液の100%リサイクルが好調!



アミタでは創業以来約40年間で培った技術・ノウハウを用いて、新しい産業に伴い生じる資源循環ニーズへの対応を進めています。

2018年より北九州循環資源製造所で開始しているシリコンスラリー廃液*の100%リサイクルが、順調に収益に貢献しています。今後のサービス拡大に向けて、台湾事業の設備移設を進めています。

写真: 北九州循環資源製造所の上記リサイクル設備

*半導体の製造過程で発生する廃棄物

全国で体験会を開催、企業340社以上が参加!



「AMITA Smart Eco」の体験会を全国5カ所で開催。毎回満員御礼の人気セミナーとして、合計約340社の企業、約460名の企業担当者に参加いただきました。

今後も多くの企業様にICT・アウトソーシングの効果を認知・実感いただくことで、企業の環境化を促進する中核サービスとして、提供を拡大していきます。

写真: 2019年6月に開催したセミナーの様子

水産認証を中心に取得顧客数が増加!

認証取得顧客数	2017	2018	2019(上期)
FSC®FM	23	24	23
FSC®CoC	314	354	371
FSC®プロジェクト認証	15	22	29
MSC CoC	63	93	117
ASC CoC	23	49	73
ASC養殖場	2	4	6

東京オリンピックの影響を受け、日本国内やアジアを中心に持続可能な資源調達のニーズが高まっており、昨年に続き水産認証を中心に取得顧客数が増加しています。

また2019年1月には、(株)ユージェナの海藻に対して世界初の「ASC-MSC海藻(藻類)認証」*を発行しました。

*2018年3月より運用が開始された持続可能な海藻(藻類)の生産者を認証する国際的な制度。

株主の皆様へ

平素より格別のご厚誼を賜り、深く御礼を申し上げます。

2019年度のアミタグループは収益力の回復と経営基盤の強化を経営の最優先事項とし、利益の拡大にこだわった企業活動を行っています。この取り組みが功を奏し、上期の決算は、前年同期に対して売上高は下回るものの、営業利益・経常利益・純益率はいずれも増加する結果となりました。2018年に2.9%だった営業利益率は4.6%となり、回復傾向にあります。また本年4月に撤退を決定しご心配をお掛けしております台湾事業については、収益性の高い国内シリコンスラリーの100%リサイクル事業に経営資源を集中させる目的で、設備の一部を北九州循環資源製造所に移設を進めています。

2019年下期は、以下（2019年下期の取り組み事項）の取り組みを中心として、2019年度の通期目標を達成してまいります。

近年は、豪雨や震災等といった災害が相次いでいます。本年の災害により被害を受けられた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

地球温暖化が加速すれば、今回と同等またはそれ以上の勢力の台風が日本に訪れるだろうと言われていています。

また国外では既に、地球温暖化の影響により、水産資源の減少や巨大暴風雨の発生等による人道的・経済的な惨事が生じています。

アミタグループは「循環」のテクノロジーを武器に、創業以来約40年間、持続可能社会の実現に取り組んできました。産業構造のサステナブル化により気候変動問題を含む社会課題を解決すること。想定外の事態に耐えうる、関係性を基盤とした不幸や孤独を生まないレジリエンス（しなやかな強さ）を備えた社会をつくること。

こうした私たちの挑戦を新たな社会モデルとして結晶化し、次世代の希望としてお届けできるよう尽力して参ります。

株主の皆様には、今後益々のご指導ご鞭撻をいただけますよう、よろしく願いいたします。

アミタホールディングス株式会社
代表取締役

熊野英介

2019年下期の 取り組み事項

企業向け支援

- | | | |
|----------------|---|------------|
| 環境戦略
デザイン事業 | アミタ スマートエコ | サステナブルステージ |
| | ▶ 「AMITA Smart Eco」を中軸とした企業向け統合支援サービス「The Sustainable Stage」の提供推進 | |
| | ▶ 認証メニュー拡大や審査体制増強による環境認証審査サービスの受注拡大 | |
| | ▶ 全国展開する資源循環プラットフォームを駆使した100%リサイクルサービスの提案強化 | |

海外事業

- ▶ パラオ共和国における「包括的資源循環システム構築プロジェクト」の事業化推進
- ▶ マレーシアにおけるセメント代替燃料の製造に向けた取り組み・営業力強化

地域向け支援

- | | |
|--------------|--------------------------------------|
| 地域
デザイン事業 | めぐるステーション |
| | ▶ 「MEGURU STATION」の商品化と水平展開に向けた営業・開発 |

会社概要 2019年10月23日現在

会社名	アミタホールディングス株式会社		
本社	〒604-0847 京都府京都市中京区烏丸通押小路ル秋野々町535番地		
上場市場	東証JASDAQ	証券コード	2195
資本金	474,920,000円	従業員数	160名
URL	https://www.amita-hd.co.jp/		

未来デザイン通信 2019 秋

本誌は2019年10月23日現在のデータに基づき作成しています。

お問い合わせ先 **アミタホールディングス株式会社 IR担当**
〒604-0847 京都市中京区烏丸通押小路ル秋野々町535番地
TEL: 075-277-0795 FAX: 075-255-4527
E-mail: ir@amita-net.co.jp